

今週（6月21日から6月25日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、引き続き調達意欲は堅調なものの、レートの動意に乏しい展開となった。無担保コールO/N物は、邦銀の調達を中心に▲0.06～▲0.01%近辺での出会い。マーケット残高が高水準で推移するなか、取り急ぐ動きは見られず、無担保コールO/N加重平均レートは、▲0.029～▲0.026%と狭いレンジで推移した。ターム物は、月内物を中心に▲0.04～▲0.01%での出会いが散見された。日銀当座預金残高は、21日に国債の償還・利払いの影響で535兆円程度まで増加した後は大きな変動なく横ばい圏で推移した。

24日には新型コロナ対応金融支援オペが6M物でオファーされ、107,752億円の貸付が行われた（期落ちは99,697億円）。残高は25日時点で693,890億円となる見込み。

●レポ市場

今週のGC T/Nは、▲0.085～▲0.075%出会いと、先週とほぼ同様の狭いレンジで推移した。週初21日のT/Nは、短国買入オペが実施されたことでレートが低下する動きも予想されたものの、オファーサイドの投資家がレートを切り上げて資金調達に動いたことで▲0.08～▲0.075%の出会い。22～24日まで、利付債の入札や国債買入オペをこなしながらも各日▲0.085～▲0.075%の出会いとほぼ横ばい圏で推移した。23日のT/Nも、短国3M物の入札を控えてややビッドサイドが薄くなったものの、▲0.08%出会いと横ばい圏での推移となった。

SCについては、2y414～425、5y140～147、10y349～362、20y171～176、30y66～70、40y13などカレント銘柄を中心にビッドが多くみられた。

●短国市場

今週の短国市場は週を通して閑散なマーケットとなる中、3M物が▲0.099%で推移するなど、やや軟調な展開となった。一方で6M物と1Y物は横ばい圏で推移した。

21日に行われた短国買入オペは、前回から5,000億円増額の1兆2,500億円でオファーされ、平均落札利回較差+0.004%、按分落札利回較差+0.003%と、やや弱めの結果となった。およそ一か月ぶりに1Y物が買い入れ対象となったこともあり、応札倍率3.96倍と、売却需要の強さが意識される結果となった。

25日に実施された3M物の入札は、WI取引において▲0.098%の出会いが見られる中、平均落札利回▲0.0982%、按分落札利回▲0.0962%と、無難な結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは▲0.100%の出会いが見られるなど、堅調に推移した。

●CP市場

今週のCP発行市場は、償還総額1兆2,600億円程度に対して、発行総額9,800億円程度となった。陸運・機械・石油等の業態では、1,000億円程度の大型発行を実施する先も見られたが、四半期末を目前に控えて大口の発行分をロールしない先も多く、償還超となった。市場残高は24兆円台半ばから後半で推移した。発行レートは、四半期末を控えて投資家の玉確保ニーズは堅調で、大半の銘柄が引き続きマイナス圏での推移となっており、発行残高の少ない銘柄では先週から更に目線を切り下げる動きも散見された。

25日にはCP等買入オペが予定通り5,000億円でオファーされた。応募限度額は、5,000億円と前回同様にオファー額と同額であった。四半期で最後のオペにあたるため、レートがある程度低下する可能性も考えられたものの、按分落札レートは▲0.010%と前回から若干低下した程度で、平均落札レートは▲0.004%と前回比横ばいとなった。

●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（%）	為替 （ドル/円中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・%）	東京レポレート（翌日物・ T+1スタート・%）	日銀当座預金残高 （億円）
6/21（月）	28,010.93	0.040	110.23	△ 0.026	△ 0.086	5,353,500
6/22（火）	28,884.13	0.050	110.38	△ 0.029	△ 0.086	5,367,200
6/23（水）	28,874.89	0.050	110.75	△ 0.028	△ 0.085	5,341,200
6/24（木）	28,875.23	0.050	111.06	△ 0.028	△ 0.086	5,351,300
6/25（金）	29,066.18	0.045	110.98	△ 0.029	△ 0.085	5,358,200

来週（6月28日から7月2日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
6/28 (月)	決定会合における主な意見(6月17・18日分 8:50)				
6/29 (火)	5月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 5月の一般職業紹介状況(=有効求人倍率 厚生労働省 8:30) 5月の商業動態統計速報(経済産業省 8:50)	2Y 30,000億円 7/1発行			4月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数 6月の米CB消費者信頼感指数
6/30 (水)	5月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50) 5月の住宅着工統計(国土交通省 14:00) 6月の消費動向調査(内閣府 14:00)				6月のシカゴPM景況感指数 6月のユーロ圏消費者物価指数速報値 1-3月期の英GDP確報値
7/1 (木)	6月調査の日銀短観(概要及び要旨,日銀 8:50)	10Y 26,000億円 7/2発行			5月の米建設支出 6月のISM 製造業景況指数
7/2 (金)	財政資金対民間収支前月実績/当月見込み(財務省 15:00) 6月のマネタリーベース(日銀 8:50)	TB3M 60,000億円 7/5発行			5月の米貿易収支 5月の米製造業新規受注・出荷・在庫 6月の米雇用統計

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
6/28 (月)	▲ 400	▲ 9,600	▲ 10,000	CP買入 国債補完	▲ 500 100		▲ 400	▲ 10,400	TB3M発行▲60000償還56500
6/29 (火)	▲ 1,000	4,000	3,000				0	3,000	
6/30 (水)	▲ 1,600	12,000	10,400	CP買入		5,000	5,000	15,400	地方税 各種財政資金の払い
7/1 (木)	0	▲ 24,000	▲ 24,000				0	▲ 24,000	2Y発行▲30000償還11400 期日前税揚げ
7/2 (金)	▲ 1,000	▲ 49,000	▲ 50,000				0	▲ 50,000	法人税・消費税 年金保険料 10Y発行▲26000
週 間 合 計	▲ 4,000	▲ 66,600	▲ 70,600	—	▲ 400	5,000	4,600	▲ 66,000	

6/28は日銀予想、6/29以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、四半期末要因により30日に一時的なレート低下が想定されるものの、それ以外は今週と横ばいの推移が予想される。レポ市場は、GC T/Nは、オファービッド両サイドの投資家のニーズが厚く、レートが動きにくい展開が続くと見込まれ、▲0.09～▲0.07%程度での推移が予想される。また、四半期末越えの取引が終了する週後半にかけてレート上昇余地があるかどうか注目される。短国市場は、2日に3M物の入札が実施予定となっている。需給やレート水準を含め、市場動向が注目される。また、29日に実施が予想される短国買入オペのオファー額にも注目したい。CP市場は期末・期初の取引を含んだ週となる。30日には市場残高が大きく減少することが予想され、事業法人の発行レート水準が注目される。また、期初スタート分での発行残高の回復も相当量見込まれるため、動向が注視される。

主要なイベントは、海外では30日に6月のユーロ圏消費者物価指数速報値、1-3月期の英GDP確報値、7月2日に6月の米雇用統計が予定されている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。

◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くことがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入